

6. 6党大阪府委員会 コロナ対策地方議員団懇談会での発言から②

懇談会での清水ただし衆院議員、大門実紀史参院議員のまとめの発言を紹介します。

清水衆院議員 まとめ発言



いま日本共産党に対する国民のみなさんの期待というのは、困ったときに助けてくれる、話を聞いてくれる、相談に乗ってくれるというものです。今週の日曜版に東京のシングルマザーの方が、区議のところへ相談に行き、生活保護を受けられるようになり、生活をつなぐことができたという記事がありましたが、こうした活動ができるのは、わが党ならではだと思えますし、そこには党支部のみなさんと日々奮闘されている地方議員団のみなさんの活躍があると思っています。

そして現場でなかなか突破できない制度の壁や、突破しなければならぬ矛盾があれば議会や国政と結んで解決していくということが、何よりも優先してやっていかなければならぬことだと思っています。

同時に、新型コロナのあとの日本の社会はどうあるべきかということで、立憲民主党の枝野代表が新自由主義的なものから脱却しなければならないと政権構想を述べているところからも、私たちが目指す政治革新の実現を前にすすめていく可能性が大きく広がっている状況でもあると思っています。

今年は財務金融委員会できとりに来て、納税猶予や中小零細業者への融資の拡充、さらに

は持続化給付金の問題など取り上げてきましたが、いまここで本当に困っている大阪のみなさんの頼れるところは共産党だ、維新じゃないんだということをみなさんと汗をかいていきたいと思うんです。吉村知事は東京のテレビにもよく出ている。あれだけ見ていたら、吉村さん、小池知事よりがんばっていると。どうやって対抗するか。たつみコータローさんが毎日テレビに出られるわけではない。日本共産党は困っている人たちのためにがんばる政党だということが評価されているところですから、地道に、みなさんと一緒に、そういう分野でがんばっていくということが大事だと思いますし、そのことが党勢拡大や選挙勝利につながると思います。今日、出された要望にもしっかり取り組んでいきたいと思っています。

大門参院議員 まとめ発言

●持続化給付金 給付されていない 50 万件はどうなるか

いくつか補足的に報告させて頂いて、私のまとめとしたいと思います。

持続化給付金は先週末時点で、150 万件以上の申請で 100 万件以上給付。金額で 1 兆 4 千億円ですので、最大規模の支援策となっています。たくさんの中事業者が救われている一方で、申請して 3 週間になるのにまだ給付されない、書類の不備と言われたがなにが不備かわからない、など不満の声をたくさん寄せられています。地方議員団からの相談も一番多いので、

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 34(2020.6.10)

現状をお伝えしておきます。

現時点でいうと、まだ給付されていない 50 万件のうち 1～2 週間以内に給付されるのは 20～30 万件の見込みで、残るのが 10～20 万件くらいだと思います。その理由は、体制が追い付かないことに加え、書類の不備や送った写真が判別できない、書類にハンコがないなど実務的理由で、メールで何々が不備と申請者に伝えるのですが、そのやりとりに時間が掛かる。こうして滞ったままになるのが 10 万件以上。これからも蓄積していくのではないかと考えられます。

そこで現在、中小企業庁に要求しているのは、こういう人たちはオンラインでメールのやり取りをしてもいつまでたっても解決しないので、個別の相談・申請窓口を設けて、対人で、これを出してください、明日持ってきてくださいと解決していく、この手法をとるしかないと提案しています。

私の質問への答弁で中小企業庁の部長はその方向で検討すると答弁しています。最終的には窓口で、人が判断して受け付けないと給付が最後の一人まで行き渡らないと思います。

●カジノ、スーパーシティ法案

□IR 遅れる申請、声をあげよう

コロナ対策とは別の話ですが、この機会に、夢洲に建設予定の「大阪スーパーシティ」について報告しておきます。

まずカジノ、IR ですが、コロナ対応の関係で国の基本方針策定が遅れます。したがって各自治体の国への申請手続きも遅れます。大阪の申請手続き、計画策定そのものも遅れる見込みです。コロナ禍で経済の落ち込みは続きますが、バクチで経済復興などありえない、カジノIR など見直せという声を大きくあげましょう。

アメリカの大手カジノ企業・ラスベガスサンズは経営が悪くなったので横浜カジノに参入するのを断念・撤退しました。横浜のカジノ反対運動も撤退の理由の一つだと言われています。



大阪に参入する予定のMGMリゾートもアメリカで経営が悪くなっています。カジノ反対の声を今こそ大きくして撤退させましょう。

□夢洲に監視都市

もう一つは、先日国会でとりあげたスーパーシティ法です。これは大阪維新のために通した法律です。「大阪スーパーシティ構想」というのがあります。特に松井市長が熱心で、夢洲にカジノIR、スーパーシティ全部一緒につくろうというものです。

スーパーシティとはいたるところに監視カメラを設置し、顔認証など生体認証をおこなう。監視センサーやスマホの位置情報で人の移動も管理。そのデータを蓄積し、AI（人工知能）が分析して管理する中国のような超監視社会をつくろうという計画です。個人情報やプライバシー保護の観点から大問題だということでわが党は法案に反対しました。

今までカジノには無頓着だった人でも、個人情報保護やプライバシー保護に敏感な人は多くいます。カナダのトロントなど、スーパーシティ構想に大きな反対運動が起きた例もあります。

場所はカジノIRの予定地とおなじ夢洲です。カジノIR反対の運動に加え、スーパーシティ反対の住民運動が起こる可能性があります。